



入会方法

OHREPseのホームページから「入会申込書」をダウンロードして、必要事項を記入の上、e-メール、FAX、または、郵送をお願いします。その後にこちらから連絡を差し上げますので、会費の入金をお願いします。

年会費；¥3,000 (個人正会員)
¥5,000 (法人正会員)
一口 ¥1,000 (賛助会員)



オホーツク自然エネルギー プラットフォーム 第二版

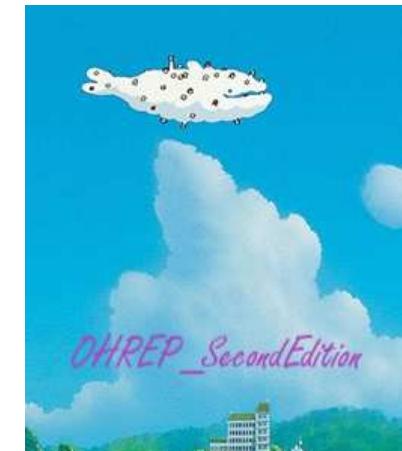
お問合せ

〒064-0804
北海道札幌市中央区南四条西10
丁目1005-4-302号

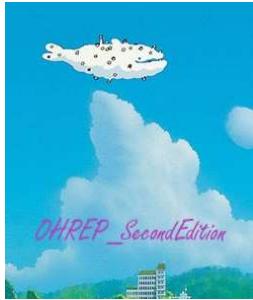
Tel; 090-8909-9913
Fax; 011-261-6453
Homepage;<https://ohrep-se.jp>
Facebook;<https://www.facebook.com/OHREPse>

<https://ohrep-se.jp>

OHREPse オホーツク自然エ ネルギー・プラッ トフォーム第二版



私たちは、オホーツク地域で自然エネルギーに関するさまざまな活動を行い、エネルギーの地産地消と地域活性化の一助になることを目的に運営しています。次の世代のために持続可能な循環型社会の構築を目指していきます。



OHREPseとは

2011年3月11日、悲劇的な災害として歴史に残るだろう東日本大震災と福島原発事故。ここから日本は変わったのかもしれません。それまで安全と言われて、スリーマイル島、チエルノブイルと起きた大事故でも日本じゃ考えられないとしてきました。しかし、事故は起きました。そしてそれは自然災害というより人災といえるのかもしれません。原発に頼らず、そして将来に亘って持続可能なエネルギーは何でしょうか。それは再生可能な自然エネルギーしかありません。自然エネルギーだけでこの日本社会を支えられるわけがないと考える人がいます。しかし先進諸国を含む世界は、既に再生可能エネルギーへと大きくシフトしています。2015年2月に有志で、オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム第二版（略称OHREPse）を設立しました。OHREPseは、北海道のオホーツク地域において地域住民とともに再生可能エネルギーに関する事業を行い、持続可能な未来を目指していきます。少子高齢化となる日本の将来は、いかに地域が持続可能なコミュニティに変われるかということだと思います。人口、経済活動、食と同じくエネルギーについてもいえることです。是非、OHREPseの活動に参加してください。

OHREPseの活動

1. 地域に根ざした再生可能エネルギー導入の調査・研究および具体化検討
2. 再生可能エネルギーおよび省エネルギーに関するワークショップ開催
3. 地域コミュニティ活性化のための再生可能エネルギー、省エネに関する支援活動



コミュニティ・パワーで次世代へのエネルギー・シフトを

コミュニティ・パワーとは地域の人々が中心となって自然エネルギーを進めていく取り組みをそう呼びます。世界的な潮流となっていて、日本各地でも少しづつ実績が上がっています。

- ・地域の人々がオーナーシップをもつこと
- ・プロジェクトの意思決定はコミュニティで決めること
- ・社会的・経済的な利益はきちんと地域に還元されること

エネルギーの地産地消

今までの大手電力会社のように巨大な発電所から電気を供給したりする方法のデメリットの一つはそれを利用するところまでの距離があり、エネルギー・ロスがあるということです。エネルギーは距離が離れるとロスするのです。それには、エネルギーの発生源で使うのが一番の解決策です。ローカルでエネルギー作って、ローカルで消費するということで、経済的にもローカルでお金を回す仕組みをつくるということになります。

北海道を自然エネルギー100%へ

2011年6月「北海道エネルギー・チェンジ100ネットワーク」が設立され、2050年までに北海道の電力供給を100%自然エネルギー由来とするロードマップが策定されました。これには、エネルギー消費も2010年の40%まで削減されている計算です。結果として、2050年には、北海道が電力の供給基地になるというものです。視点を変えると今の常識から見ると全く異なる新しい文明を作り上げることなのかもしれません。それだけのポテンシャルが北海道にはあると思います。自然と調和しながら持続可能な社会を作り上げていくことにOHREPseも貢献していけば良いと思います。